

ウトナイ湖通信



No.261

2026年2月号



寒さが本格的な2月のウトナイ湖はほぼ一部が凍り、オオハクチョウなどが氷上で一休みしている姿を見かけます。普段は見られない水鳥の足の形や氷の上を歩く様子などをぜひ観察してみてください。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

2月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

2月8日(日) 10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。

※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

●定員:10名程度

●対象:一般

(小学生以下保護者同伴)

●申込:不要。直接当センターへ。



レンジャートーク テーマ「シマエナガ」

2月14日(土) 11:00~

レンジャーが30分程、テーマに合わせて館内展示室を案内します。

●定員:20名程度

●対象:一般

(小学生以下保護者同伴)

●申込:不要。直接当センターへ。



市民ギャラリー

傷病鳥獣救護記録展

会期:開催中~3月1日(日)

内容:この1年間で保護された傷病鳥の一部をパネルで紹介いたします。

またこれに合わせて、クイズラリーも開催。参加していただいた方には参加賞もあるので、ぜひご参加ください。



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライングウェイ・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



ハヤブサ



搬入時の様子
右翼の風切羽の先端
が欠損している状態



リリース前の様子
右翼の風切羽がほぼ
生えそろった状態

原因：不明

4月18日

道路上で飛べずにいたところを発見、保護さ

4月19日

れる。翌日、当センターへ搬入。初診では明らかな外傷は認められなかったが、右翼の風切羽のほとんどが中央部から欠損していた。



換羽期に欠損した羽が、自然に生え換わるのを待つこととし、同時に飛翔のための筋肉を衰えさせないようにリハビリも行なった。

11月19日

5か月ほどたち、飛翔が可能になるまで風切羽がのび、保護から7か月、リリースにいたる。

リリース

ハヤブサ (ハヤブサ目 ハヤブサ科)

最も速く飛ぶ鳥として知られ、獲物を狙って急降下する際のスピードは、時速200kmを超えるといわれています。(時速360kmという記録もあります)。国内では、狩りが行ないやすい海岸の岩場で繁殖することが多いですが、近年ではビルのテラスや鉄塔などの人工物を利用する例も報告されています。巣材を使わず、地面に直に2~4個の卵をうみ、雄と雌が協力し合いながら子育てを行います。

トピックス



冬の自然情報収集調査

毎月1回、当センターボランティアとともに観察路を歩き、見られた自然情報を集める調査活動を行なっています。集めた情報は、センター入口にある生き物掲示板に反映し、来館者の方に提供しております。今月はキタキツネの足跡やアカゲラなどが多く見られました。



登録ボランティア研修講座「野鳥標本づくり」

当センターボランティアの皆さまを対象に研修講座を開催しました。標本製作に詳しいボランティアの方を講師にむかえ、オオハクチョウの標本を製作しました。完成した標本は今後イベント等でご紹介する予定です。その際は体のつくりなど、じっくりと観察してみてください。



ボランティアコーナー

1/11に開催した「お気軽ガイドウォーク」にガイドボランティアとして参加された いけだ さんに、インタビューしました。

「お気軽ガイドウォーク」のガイドボランティアに参加しようと思った理由は何ですか？

自然には興味があるけど1人で見に行く勇気がないという方に、自然観察のハードルを下げてガイドをしたいと思い、可能な限り毎月参加しています。

参加してみた感想を教えてください。

種名が分からない、または覚えられなくても、その場で見たものをみんなで共有して楽しむことができます。季節ごとに違う風景が楽しめるのも魅力なので、多くの人に気軽に参加してもらい、一緒にフィールドに出たいと思います。

印象に残ったことがあれば教えてください。

湖面があって、周りに木と草が生えている普通の風景の中に、自然の面白さのポイントがあるのですが、それを解説した時にお客さんの表情が急にイキキとしたものになる瞬間があって、それを見ると嬉しくなります。

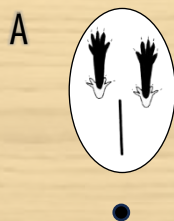


参加者にイベントの感想を尋ねる いけだ さん

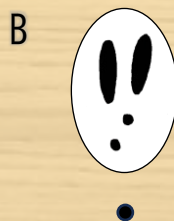
ウトナイ湖 お楽しみコーナー【ウトナイ湖・クイズ】

雪の上に残る動物たちの足跡をよく観察すると、その動物の歩き方や行動などを想像して楽しむことができます。ウトナイ湖周辺では、様々な動物の足跡を見ることができます。

右の3つのA～Cの足跡と動物の名前をそれぞれ線で結んでみましょう。



エゾユキウサギ



キタキツネ



ネズミの仲間

※答えは最後のページにあります。

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



Facebook



X



レンジャーのおすすめ自然情報



【ツグミ】

冬鳥として北海道にやっ
てきます。開けた場所を好
み、観察路では地面に降り
て食べ物を探す様子も見
られます。



【ヒヨドリ】

「ピーヨ ピーヨ」などと大きな声で鳴きます。冬は色々な木の実を食べるため、食べ物にも注目すると面白いです。



【エゾシカ(足跡)】

2つのひづめが特徴です。群れで行動することがあるので、自然観察路の周辺では多くの足跡を見ることができます。



【エゾリス(足跡)】

とび箱をとぶように、前足(青枠)をついてから後ろ足(赤枠)を着地させて移動します。木道や木の周辺で見られます。

シマエナガなどを見に来られた際に、ヒヨドリのような大きな野鳥にも注目してみてください。特にヒヨドリは声が大きく、聞こえたときには周りを探してみると、ズミの実などを食べている様子が見られるかもしれません。

また、雪の上には動物たちの足跡が残されています。どのように雪の上を歩いていたか、どこへ向かっていたのかなどを想像しながら、観察を楽しんでください。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



Facebook



X

自然観察路ガイドマップ【冬】



冬のお薦めポイント

湖の大部分が結氷します。氷の上にオジロワシやオオワシの姿が見られます。林の中では、留鳥のハシトガラなどのカラス類やエナガ・キバシリなどの混群が見られます。木々の葉が落ちているので、小鳥たちを観察しやすい季節です。